



# 飯道山

～ 山岳信仰の拠点・甲賀忍者発祥の地 ～

題字 富峰山

## ご挨拶

飯道山観光協会 会長 福本 正治



会員の皆様におかれましては、ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。過日の飯道山観光協会役員総会におきまして令和7年度飯道山観光協会会長に就任させていただきました福本正治でございます。

飯道山観光協会は昭和30年設立以来、諸先輩方の弛まぬ努力と行政及び関係機関の支援を受けて飯道山及び周辺の観光資源の振興にその成果を見ることが出来ます。

昨年度も、飯道山観光協会の多くの事業に江州飯道山行者講総本部のご支援を得ながら進めてきました。ありがとうございました。

今年度は、設立70年の節目を向かえ、気持も新たに事業計画の推進に役員一同取り組む覚悟でございます。令和7年度の事業計画は次の通りです。

年々増加します飯道山登山者の安全・安心の事業推進のために常任理事を増やしました。

また、イベント等の支援の増員を図るために飯道山ボランティアスタッフ(チーム飯道山)の募集を本年度も行います。

本年度につきましても、飯道山観光協会の事業運営に御理解いただける方のご入会の推進を図ります。

地域の皆様方及び、関係機関のご支援を得て、会員の皆様とともに、飯道山観光協会の発展のために尽力致したいと思います。

## 令和7年度 役員総会

令和7年5月31日(土)午前10時より、三本柳公民館で、滋賀県議会議員 村上 元庸 様・甲賀市観光まちづくり協会会長 小山 剛 様・甲賀市議会議員 田中 喜克 様・出口 雅之 様・江州飯道山行者講総本部 講元 梅田 義将 様・甲賀市産業経済部 部長 近藤 直人 様・産業経済部観光企画推進課課長 神山 貴昭 様・課長補佐 中島 章宏 様をお招きし開催され、53名の方にご参加いただきました。

- 開会のことば
- 物故者に対する黙祷
- 会長挨拶
- 来賓祝辞
- 出席者数報告
- 議長選出
- 議事:令和6年年度事業報告・収支決算、会則の改正、令和7年度事業計画案、予算案、役員改選案
- その他
- 閉会のことば

その結果、全ての議案について全員賛成により承認されました。

その後、セミナー:演題「飯道(いひみち)大明神について」  
講師:江州飯道山行者講総本部理事 関谷 和久 氏からお話いただきました。  
セミナー後懇親会を実施し、40名の方にご参加いただきました。



# 令和7年度 事業計画 《山を守る 自然を守る 環境を守る》

- 1 飯道山登山者に対する安全・安心な取り組み 《山への感謝と自然環境保全》  
(定期的に案内看板・登山道・関係施設の巡視と整備点検の実施)
- 2 広報活動 (ホームページの維持管理と更新、飯道山広報誌の発行)
- 3 地域の歴史文化の掘り起こし活動 (飯道山広報誌:飯道山の歴史連載、研修会:セミナーの実施)
- 4 関係団体と交流の活発化 (地域密着活動・社会貢献活動、チーム飯道山活動)
- 5 杣川夏まつりの実施協力 (杣川夏まつり実行委員会への参画)
- 6 青少年の郷土愛への支援 《人と山と地域をつなぐ》(第2回 飯道山清掃登山〔クリーンハイク〕の実施)
- 7 ふれあい飯道山登山の実施 (第19回JRふれあいハイキングの計画と実施)
- 8 観光振興の推進、観光資源など魅力の発信 《人と人をつなげる忍者の里》  
(大護摩供養・木食応其上人墓前法要、びわ湖や紫香楽宮跡などの街並み眺望ポイント)

## 令和7・8年度 役員



役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名
顧問	山田 耕造	常任理事	小山 實	常任理事	薄井 寛喜
	富田 博明		黄瀬 一郎		木下 浩幸
相談役(会長補佐)	倉田 信雄		谷川 義明		谷村 正雄
会長	福本 正治		池村 健二		谷口 幸三
副会長(総務担当) (事業担当) (会計担当)	伴野 敬一		口村 耕治		
	谷川 廣昭		倉田 清長	監事	谷口 雄三
	木下 新次		山中 修平		山中 茂

## 飯道山の歴史

No.3

## 甲賀の古墳と飯道山信仰



### 江州飯道山行者講総本部理事 関谷 和久

甲賀の横穴式石室(後期古墳群調査報告)が2008年に市史編纂室から発刊された。其の内、三雲園養寺古墳群から三大寺と牛飼に跨ぐ城川古墳群の間に約300基が確認されている。その地域は、飯道山の山麓で山から流れ下る川が住居する事に適した位置と重なると推測される。甲賀市の大半がこの地域に集中しています。何故この地域に、と示唆されるのは、飯道山の存在である様に察せられる。大きな川(野洲川、杣川)から取水は簡単だが、水害が起こりやすいので、河岸段丘であり飯道山からの川を有する場所に住居を構えた、と推定される。当然のこと乍ら早魃時には飯道山を信仰の対象としたと思われる。その信仰地、祭祀場が今も残っている。三角点から神社

への尾根道を150m程進み左に谷へ降りる道が有り、7.80m行くと飯道山絵図に載る龍池で在ろう堤を伴った人口池が現存する。岩の下から浸みだす水を石で直径1.5mの円形に囲ったところに導き(水を聖水とする浄化施設)、そして7.8mの両側石積の溝で池に流れ入る。江戸時代迄は、現在の杖の権現から山頂へは立入ることのできない禁足地であった。早魃時等では、祭祀が行われたで在ろうと想像する。南北朝時代と推定される飯道寺縁起には【…辨天者江州甲賀之郡餉令山鎮座御座送累年雪霜然西天住居折栖籠摩訶陀國大王之王子宇賀太子與天女合歡】と記されており、飯道山山頂から西の峯に遷宮した後に水に対しての信仰から水と穀物へと移って居る。謂わば農耕神としての信仰である。

隣の湖南市の知人僧侶が言われた話で、「上(天)に見えるは阿星山、下(大地)に流れる川は思川、正にアボジ、オモニ、お父さん、お母さんと聞いた事がある。古墳の構造から渡来系の人達が関わった可能性があるのではと想像できる。日本書紀に584年、【百濟より来ける甲賀臣弥勒菩薩の石仏有りて】と記されていて被献上者は蘇我氏と推定されている。甲賀臣は甲賀市の名に比定されるのでは無いでしょうか。

### 滋賀県甲賀市飯道山の歴史

<https://www.hp-ez.com/hp/handousan>



## 第2回 飯道山(664m) 清掃登山

10月5日(日)



集合時間：9時30分  
集合場所：貴生川小学校(雨天中止)  
貴生川小学校帰着：14時頃 ※車の駐車可  
自然環境の保全を目的に、日本遺産に認定された「忍びの里伊賀・甲賀」において、飯道山・飯道神社は、その構成文化財とされています。自然とふれあい、その素晴らしさを感じ取って下さい。協会で(保険に加入、忍者おにぎり・お茶を準備)

## 第19回 JRふれあいハイキング

10月26日(日)



集合時間：9時15分  
集合場所：貴生川駅南出口  
参加費：保険代(500円)  
紫香楽宮跡駅解散：16時頃  
山岳信仰と甲賀忍者発祥の地飯道山ハイキングを実施します。

## 飯道山木製階段改修



木食応其上人入定窟社から東照宮跡へ降りる階段が甲賀市より改修していただき新しくなりました。